解禁日:令和6年9月12日

令和6年9月12日

報道関係者 様

守口市報道提供資料

守口市立にじいろ認定こども園における医療行為の処置誤りについて

守口市立にじいろ認定こども園（以下「にじいろ園」という。）内で、医療的ケア児への医療行為（インスリン注入）の処置誤り事案が発生しましたので、情報提供（公表）します。

1 概要

令和6年9月5日、市と「守口市立認定こども園医療的ケア児受入に係る看護師等派遣業務委託」契約事業者に所属する訪問看護師が医療的ケアを必要とする園児に対し、インスリンを適切に注入することができなかった。

2 経過

令和6年9月5日昼食後、当該契約事業者に所属する訪問看護師が当該園児に対しインスリン注入を行う際、インスリンポンプの操作を誤り、インスリンを適切に注入できていないまま、帰社した。

しかし、その後も血糖値が高いことから、にじいろ園から保護者に連絡を入れ、保護者がにじいろ園に到着後、インスリン注射を打つなどの処置を行い、血糖値が平常となった。

なお、当該児童においては、血糖値が上昇した以外に当日の体調に特段の変調はなく、翌日以降も体調確認を行ったが、特段の変調はなく、登園されている。

3 原因

当該訪問看護師は2回にわたりインスリン注入の操作を行っていたが、1回目は微量が注入され、2回目は注入されていなかった。当日は訪問看護師が2人の予定であったが、急きょ1人となり、その者がインスリンポンプの操作に不慣れであったことが原因と考えられる。

4 再発防止

- (1) 当該契約事業者においては、9月から訪問看護師の体制を2人から1人へ変更する予定であったが、同様の操作ミスが発生しないよう、当面の間、従来どおり2人体制とする。
- (2) インスリン注入の完了について、訪問看護師の確認後、にじいろ園の職員も確認（ダブルチェック）する。
- (3) 上記契約事業者（3者）とで会議を開催のうえ、本事案及び各事業者のインスリン投与における注意点・着眼点等を共有し、再発防止策を講じる。

問合せ：こども部こども施設課
電 話：06-6992-1695（直通）